

No.83 駒津太極拳同好会

当会は、平成 29 年 4 月に、今まで所属していた「笠間太極拳同好会」から主として土浦地区に在住する会員が分離して、新しく会を立ち上げたものです。誕生してからまだ 3 年です。

「駒津」の名前の由来は、その昔、この地が霞ヶ浦における舟での物資輸送の際、陸揚げ後の輸送に馬（駒）を使用する拠点となったことから名付けられたそうです。

当会の特色等について、令和 2 年の状況を紹介させていただきます。

*同好会の教室が 2 か所あり、それぞれに活動しています。

一つは「小松町公民館」で活動し、福地師範が演舞の指導に当たっていますが、会の管理運営は約 30 年間太極拳を続けてこられた 90 歳になる伊藤会長が担当しています。この方は、太極拳の効果を体得され、これを生活に反映させているため、今も極めてお元気です。

もう一つは「阿見町福祉センターまほろば」で活動し、会員の指導は、今まで長期間、笠間、つくば及び真壁同好会等で活躍された埜口師範と小川準師範が当たっています。

*男性会員が比較的多い構成

現在、県支部に登録している会員数は 13 名ですが、その他に未登録の会員もほぼ同数の人数がいるので、総勢 27 名です。

特色は、「まほろば教室」の会員は 15 名ですが、そのうち 7 名が男性です。会員の約半数が男性で構成されている教室は珍しいと思います。

「小松教室」

福地先生と 90 歳の伊藤会長



「まほろば教室」

小川準師範と多数の男性会員

